

地元企業からみた  
スマートシティ実装への  
課題と取組み

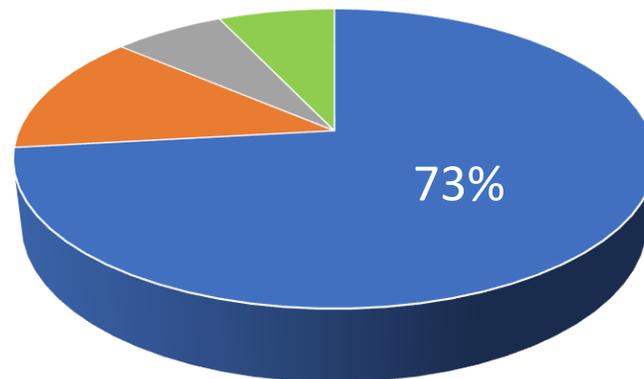
2022.07.20  
江ノ島電鉄株式会社



# 江ノ島電鉄グループのご紹介



2018年度 連結営業収益構成比



鉄道事業・バス事業



不動産事業



レジャー・サービス事業

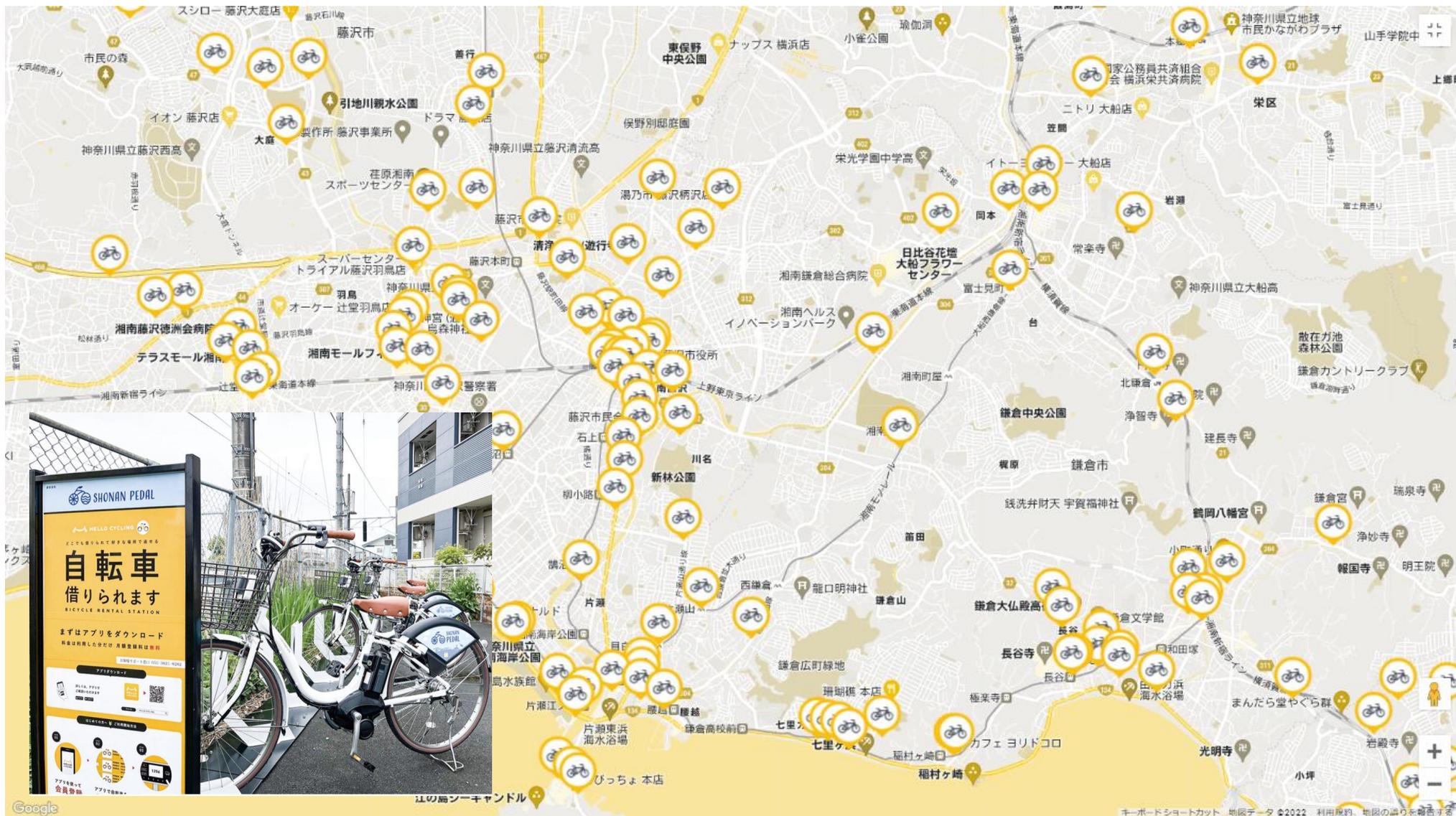


● 本年鉄道開業120周年、湘南・鎌倉地域を中心とした県内エリアで事業展開

# 市内交通事業エリア (鉄道・バス)



# 市内交通事業エリア（シェアサイクル）



※SHONANPEDALを含むHELLOCYCLINGポート全体を記載

## 地域課題③ 観光・交通の適正化

- ✓ 年間2000万人近い観光客が来訪することにより
  - …深刻な交通渋滞や緊急車両の到着遅延など、市民生活に不利益と不便、不安を与えている
  - …外国人を含む多様な人の滞在により、ごみの減量や災害時対応など、様々な面で観光客との共生が課題
- ✓ さらに、with&afterコロナを見据え、観光客と市民双方の安心安全の確保が求められる

	入込客数(千人)	面積(Km)	人口(千人)	面積当たりの入込客数(千人)	人口当たりの入込客数(人)
<b>鎌倉市</b>	<b>22,925</b>	<b>40</b>	<b>177</b>	<b>573</b>	<b>130</b>
京都市	56,840	828	1,417	69	40
奈良市	14,976	277	363	54	41
日光市	11,957	1,450	84	8	142

面積当たり：約 573,000人  
人口当たり：約 130人

人口・面積に対する  
観光客数が突出して高い



深刻な交通渋滞



観光客であふれる道



公共交通機関の大混雑

第2回鎌倉市スマートシティ官民研究会

## 第2部 鎌倉市の観光・交通に関する現状と課題の説明

令和2年（2020年）12月25日  
鎌倉市交通政策課・観光課

### 観光の現状② 集中化と分散化

混雑著しい日中帯の二大地域

長谷駅～長谷寺～  
高德院（鎌倉大仏）

鎌倉駅東口～小町通り  
～鶴岡八幡宮

市民生活への大きな影響

- ・混雑・渋滞を避けた生活へのシフト  
(昼は混むから朝の内から出かけなきゃ...)
- ・観光マナーの悪化  
(「バシないだろう」⇒「他の人もやってるから」の連鎖)
- ・データ・状況から推察される観光消費の低さ  
(本当に観光って市にお金を落としてるのか?)
- ・新型コロナウイルスへの不安  
(観光客がクラスター化するのではないかと?)

⇒「観光客・観光施策への不満」へ...

閑散とする夜帯・伸び悩む消費



夜の小町通りの様子  
(2019.2月)



中には地元の人で賑わう  
魅力的な店舗も

「分散型観光」の推進施策展開



「地域的分散」



「時間的分散」

### ○公共交通の状況(バスの運行状況)

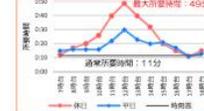
○路線バスの所要時間にも道路の速度低下が大きく影響

＜主なバス運行路線＞



＜時間帯別バス所要時間＞

○鎌倉駅東口～北鎌倉方面



＜小袋谷→鎌倉駅東口＞



○鎌倉駅東口～長谷寺観音・大仏方面

＜鎌倉駅東口→鎌倉駅東口＞

休日…H30,6,24(日)・平日…H30,6,27(水)

＜鎌倉駅東口→火の見下＞

※データ：ETC2.0プローブ情報 7:00～19:00の12時間平均通行速度 2019.6.15～16 (アジサイ開)

※対象路線：道路交通センサスの対象路線(一般道) 鎌倉地域の対象路線(国道134号、(主)横浜鎌倉線、(主)横浜鎌倉線、(主)金沢鎌倉線、(主)鎌倉鎌倉線

### 鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会 第3回特別委員会資料より抜粋

道路網が有する能力を越えて市街地・観光地へ流入する  
**自家用車（住民、観光客）の存在 = 「交通渋滞」**

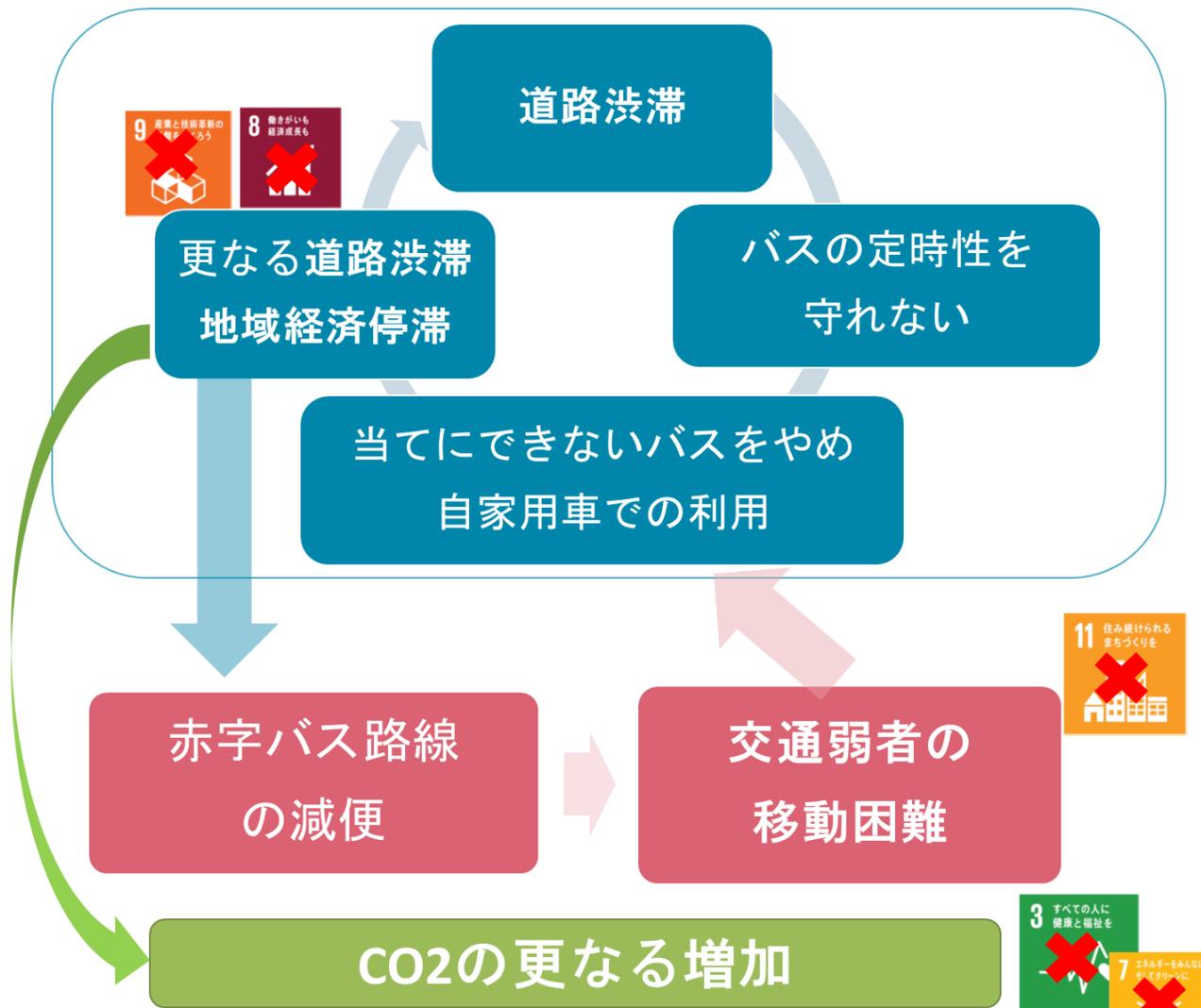


江ノ電年間160回程度**遅延**(2019年度)



路線バスは土休日**30分以上の遅延**

●公共交通に対する**信頼低減**だけでなく、「**経済・社会・環境**」へも悪影響



**道路渋滞**に起因する公共交通の悪循環をどこかで断ち切ることが必要



スマートシティを通じた**交通改善**に対して、積極的に取り組む**責務**

渋滞で速度が低下すると、燃料の消費量が増え、CO2の排出量が多くなります。乗用車（ガソリン車）を例にとると、一般道路の平均時速40キロを1.00とした場合、渋滞などにより速度が20キロになると、CO2の排出量は1.45倍に増加します。（徳島国道事務所HP）

## 特定日、特定時間、特定場所への集中による 「局所的オーバーツーリズム」



・観光客の行動パターン（場所・時間）**画一化**

●地域内観光の不満点の上位は「**移動のしにくさ**」「**混雑**」

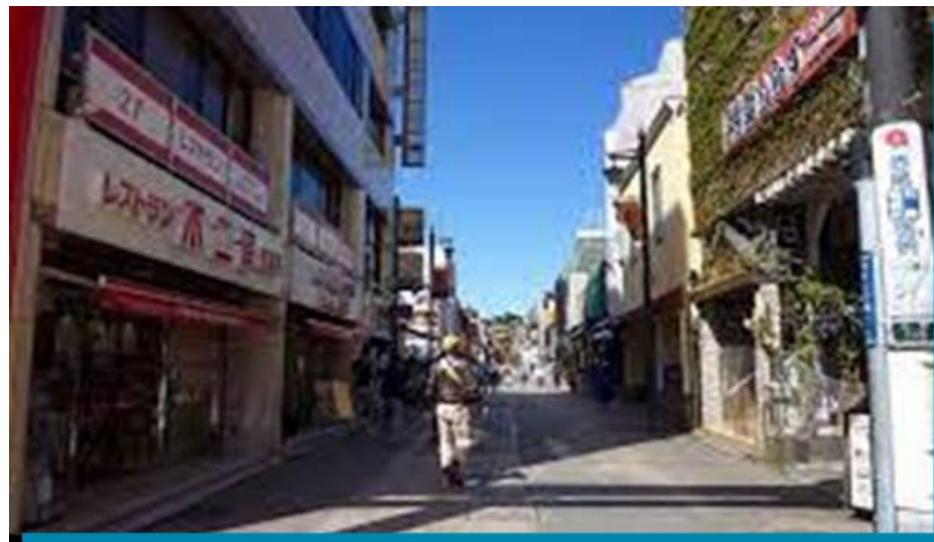
## 今後の移動減少は公共交通、地域産業の衰退にも直結

鉄道輸送人員



公共交通の利用者減少は  
当分戻らない状況

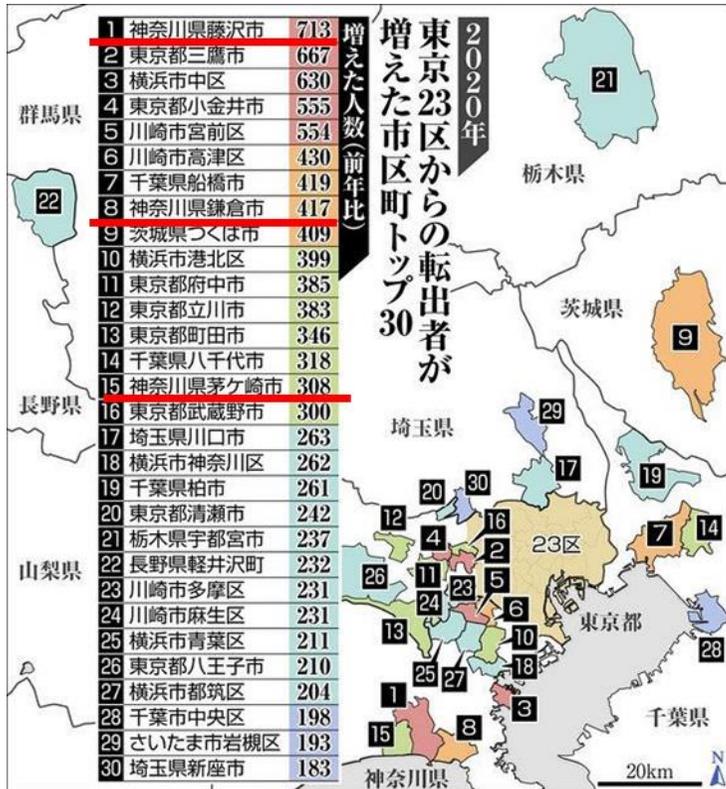
「人口減少」「若者・高齢者の外出率の低下」  
「移動に対する価値の見直し」EC、デリバリー、テレワーク



移動の減少はリアル事業（実店舗／対面営業）の  
衰退にも大きな影響

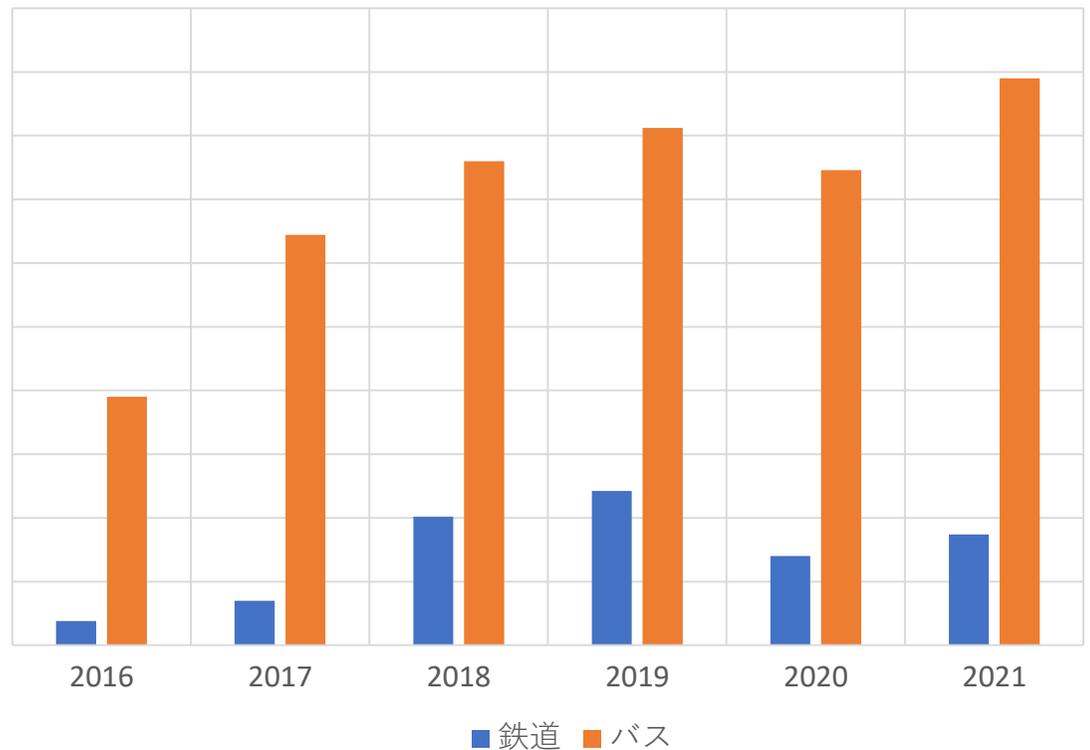
●公共交通企業として、「移動」の目的自体を創出していくことも重要な役割

## コロナ禍も含めた湘南エリアの居住人気上昇により 「地域生活／観光」両面持ち合わせる地域形成



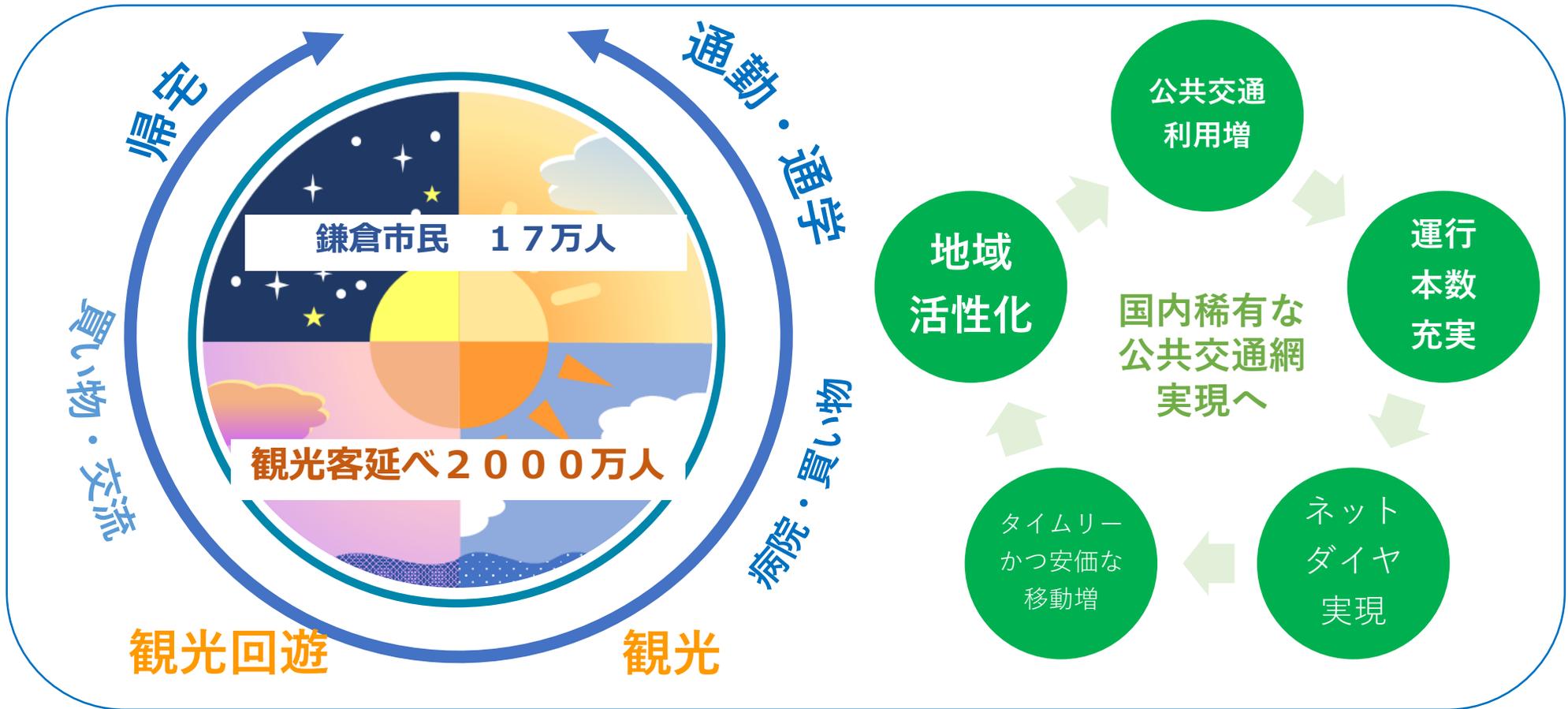
(参考：東京新聞WEB2021年4月19日掲載)

鉄道（上段）、バス（下段） ご意見件数



地域住民の公共交通への不満も増大しているが、解決は決して簡単ではない

## 「ベットタウンと観光地が共存する鎌倉地域」独自の**事業機会・発展の可能性**



- スマートシティ実装に向けて、**鎌倉市内各地域の実情に即したアプローチ**で、「交通・混雑」の課題解決を推進する必要性

## 交通の理想像 「すべての人が快適に移動できる交通環境」の創出①

### 2025年に目標とする“まち”のすがた（「第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画」より抜粋）

公共交通の利用促進、道路や駐車場などの交通施設の有効活用、MaaS（ICTを活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段をつなぐシームレスな移動サービス）などの新たな移動システムにより、鎌倉らしい交通環境が整っています。



## 「すべての人が快適に移動できる交通環境」の創出

### 実現するためには…

- 交通渋滞の緩和・解消
- 次世代モビリティによる2次交通の確保（ラストワンマイルの整備）
- 移動困難者・交通弱者に配慮した交通手段の確保（交通のバリアフリー化）
- シームレスな移動手段の確保
- 生活道路における安全性の確保

等

…が必要となる！

## <課題①>

道路渋滞、特定地集中混雑による  
市民生活、経済への影響

## <課題②>

移動減少による  
公共交通収益激減、地域衰退

## <鎌倉市をフィールドとしたスマートシティへの取り組み>

### 【交通・混雑】

MaaS構築、各種分散化（場所・時間、手段等）、適切な情報発信（施策連動）

### 【コミュニティ活性化】

地域住民と観光客の交流、若者・高齢者の外出率増加

### 【その他】

市内交通・物流・観光従事者の働きがい創出

公共交通の活用を通じた「すべての人が快適に移動できる交通環境の創出」

継続的なサービス提供を通じて

鎌倉市におけるスマートシティ実装

# スマートシティにおける関心分野① (MaaS)

**MaaS**の登場により、移動の新たな価値が提供できる**手段**が変化している。



／地域の課題解決／

既存公共交通の  
有効活用

外出機会創出  
地域活性化

地域や観光地における  
移動利便性向上

新しい生活様式  
への対応

スマートシティの  
実現

参照：国土交通省ホームページ

●公共交通企業として、**どのような具体的施策**を用いて課題解決をするのが重要

# スマートシティにおける関心分野① (MaaS)



<MaaSへの取り組みを通じて当社が目指す姿>

「自家用車から公共交通への転移」「新たなライフスタイル提供」を通じた  
地域生活と観光の両立による持続可能（サステナブル）な地域形成

<スマートシティへの貢献>

経済軸

社会軸

環境軸

- 外出機会創出による地域経済好循環
- 官民連携によるインフラ構築費用低減

- 公共交通網の拡充による生活力向上
- 鎌倉、湘南地域市街地での渋滞解消

- カーボンニュートラルの実現
- 地域資源活用による積極的保護  
(街並み・産業・環境)

3 すべての人に  
健康と福祉を



交通事故低減  
排気ガス減少

8 働きがいも  
経済成長も



観光雇用創出  
産品販促

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



災害時の経済活動維持  
適切なインフラ配備

交通アクセス向上

11 住み続けられる  
まちづくりを



市内交通充実  
交通弱者移動サポート  
域内良好なつながり

手頃な価格での  
移動サービス提供  
地域資産保護

13 気候変動に  
具体的な対策を



災害対応への強化  
街歩きが楽しめる  
自然環境

とはいえ、

- ・ 「地域のために自家用車での移動は止めてください」と呼びかけるだけでは、**利用者の行動変容困難**
- ・ **金銭割引**は、瞬発的な効果は期待できるが、**民間事業者だけでは継続的施策にはなりにくい。**
- ・ 利用者側に間違ったイメージを想起させることは企業活動自体に支障をきたす。

**地域の実情に合わせたMaaSの取り組みが必要**

**「湘南MaaSプロジェクト」** ※2020年4月開始

- お客様が公共交通を更に使いたくなる **「利便性」** 高まる移動手段の提供
- 公共交通での移動が魅力的になる **「楽しさ」** 高まる移動体験の提供
- エリアコンテンツ×公共交通の連携、共生を通じた **「回遊意欲」** 高まる移動機会の提供

速達性

値引き

利便性

楽しさ

回遊意欲

**「体験価値」の掛け合わせを江ノ電らしく、鎌倉エリアらしく**

+ コンテンツを目指して移動するための手段提供



**「らしさ」を存分に生かすことができる  
共創アイデアを期待しています**

<江ノ電らしさとは・・・>

遊び心？非日常感？レトロ？可愛さ？風景？

<湘南・鎌倉エリアらしさとは・・・>

リピーター？多様な観光スポット凝縮？自然？

# スマートシティにおける関心分野① (MaaS)



乗車チケット券面  
鉄道乗車券のデジタル化  
(デジタル版のりおりくん)



シェアサイクル事業開始  
(SHONANPEDAL)



日本初のe-bikeでのシェアサイクル事業  
(KUROAD)



江ノ島エリアの混雑状況可視化  
(ENOMAP)



観音電車運行



自動運転バス実証実験



海岸の適正利用を守る  
ライフセーバーの移動支援



R134BUS実証実験

アプリ等開発

リアルコンテンツ  
創出・演出

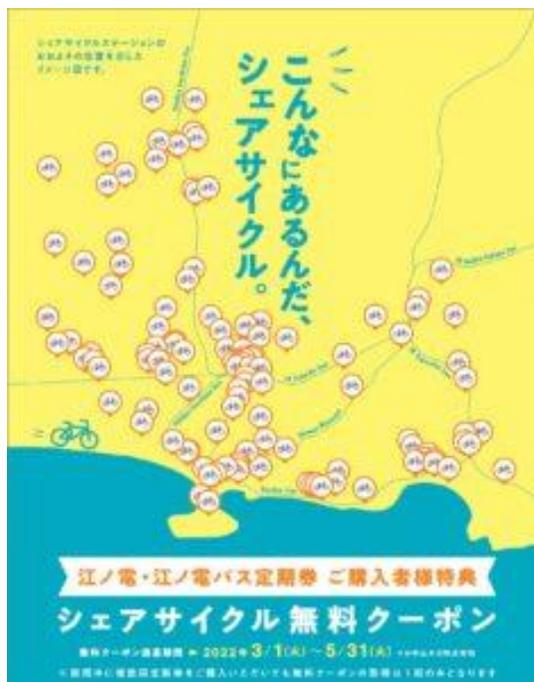
# スマートシティにおける関心分野① (MaaS)



商業施設との連携



地域独自コンテンツとの連携



複数の公共交通連携



MaaSアプリ (EMot)内での、GTFS リアルタイム連携



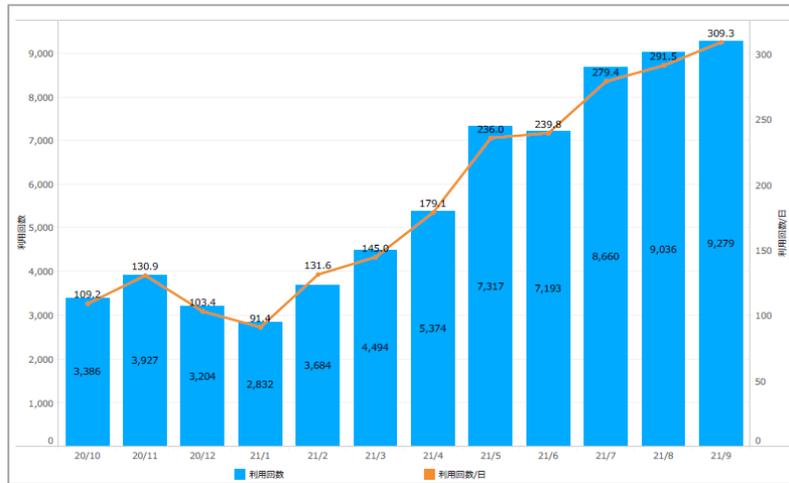
「混雑」を逆手に取った移動コンテンツ創出

# スマートシティにおける関心分野① (MaaS)

## 「シェアサイクル SHONANPEDAL」



(参考) 藤沢市内 利用実績



藤沢市内 1年間 **270%**成長



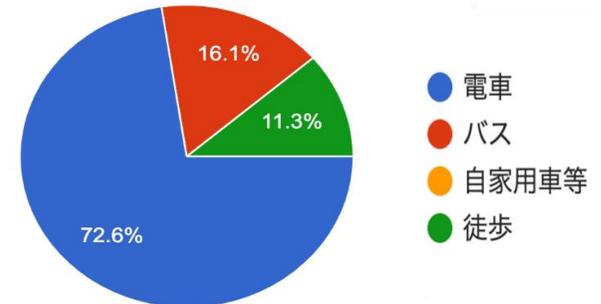
コロナ禍において、観光のお客様というよりも、  
**“地域住民の移動手段”** 利用増

## 「R134BUS」

～鎌倉⇄国道134号線⇄江ノ島 直行バス～



出発地までの交通機関をお聞かせください  
 62件の回答



**自家用車来訪者 0%**  
**満足度 90%以上**

# スマートシティにおける関心分野① (MaaS)



## 鉄道・バス、シェアサイクルをはじめとした交通施設の活用



※安全確保を前提としたリソース提供となります。

## 自治体・関係機関・商業観光施設が連携して施策を推進する仕組み



KAMAKURA DESIGN + ART WALK みずたまたん



長谷の灯かり



鎌倉フリー環境手形



地域連携店舗

一過性  
サービス

継続性  
商品確立

市内交通・物流・観光従事者の働きがいを含めた鎌倉市民のウェルビーイングへの取り組み



渋滞・混雑対応が  
仕事の中心ではない

鎌倉市内で働く充実感の向上  
付加価値の創出



鎌倉市スマートシティ実装に向け、当社と共に地域課題の解決に取り組んで頂ける官民研究会の皆さまをお待ちしております。

## <当社がスマートシティで関心や実績ある分野>

### 【交通・混雑を起因とした複数分野の連携】

- 効果的な周遊商品、次世代モビリティ整備を通じた**MaaS構築**による公共交通利用促進、カーボンニュートラル推進
- 観光における**各種分散化（場所・時間、手段等）**に向けたコンテンツ提案
- 観光混雑時の**適切な情報発信**に向けた実証（民間企業として持続可能な具体的施策、政策との連動）

### 【コミュニティ活性化を起点とした複数分野連携】

- 地域住民と観光客の交流**創造、持続的なつながり構築に向けた場の提供、施策提案
- 若者、高齢者の外出率増加**に寄与する移動目的・移動手手段の高度化

### 【その他】

- 市内交通・物流・観光従事者の働きがい**を含めた鎌倉市民のウェルビーイングへの取り組み

## <鎌倉市のスマートシティの推進に向けて協力・提案する内容>

- 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携し**サービスやソリューションの企画、検討**を行う。
- 市民起点の**アイデア**、実証実験に対して、当社事業である鉄道、路線バス、不動産の各種事業資産や**フィールドを提供**するとともに、持続可能な共創に向けた各種支援を実施したい。
- ビジネス・アクセラレーター・かながわ（BAK）等と連携した**オープンイノベーション**のコミュニティ形成の推進。